

「長崎市中央部・臨海地域」都市再生委員会（第1回）議事概要

1. 日 時：平成26年9月5日（金）10:00～12:00
2. 場 所：県庁第1別館5階 第3会議室
3. 出席者：都市再生委員会委員8名
川添一巳委員、田崎伸也委員、外井哲志委員、中村吉治委員、林一馬委員、平松喜一郎委員、本田時夫委員、山口純哉委員
（欠席5名：脇田安大委員長、伊藤滋委員、平野啓子委員、森岡公隆委員、渡邊貴史委員）
都市再生委員会事務局
長崎県 副知事（里見晋） 企画振興部長（山田伸裕） 企画振興部参事監（平松幹朗） 文化振興課長（中村哲） まちづくり推進室（前川謙介）
長崎市 副市長（三藤義文） 総務局長（桑水流和弘） 建設局長兼政策監（池田敏明） 企画財政部長（武田敏明） 文化観光部長（池田尚己） 都市計画部長（藤本晃生） 都市経営室主幹（向井逸平） 都市計画部次長兼まちづくり推進室長（片江伸一郎） 文化振興課長（濱口一成） まちなか事業推進室長（長瀬雅彦）

4. 内 容：

（里見副知事）

あいさつ

- ・長崎市中央部・臨海地域については、平成21年度末に県市共同で策定した基本計画に基づいて、平成22年度から重点的に整備が必要な4つのエリアの整備計画について、委員の皆様のご協力をいただきながら検討を進め、昨年度までに全ての基本計画を策定した。
- ・今後はこれらのエリアを連携させながら、まち全体の魅力の強化、賑わいの創出につながるような施策に取り組んでいきたい。
- ・特に長崎駅周辺においては、新幹線開業に向けて整備が進められており、まちなかのエリアにおいては、まちぶらプロジェクトなどの施策が実施されている。
- ・県庁舎跡地活用については、懇話会からいただいた提言を踏まえ、県市で県全体で最も良い活用策は何なのか検討している。
- ・県庁舎跡地は各エリアを結ぶ重要なルートのコアな部分になっているので、いろいろなプロジェクトを見据え、周辺とのまちづくりの観点で、考えていくことが必要だと思っている。
- ・都市再生全体の観点から、忌憚のないご意見をいただき、今後私どもの指針にさせていただけますよう、お願い申し上げます。

（県事務局 前川室長）

- ・資料1の説明
- ・委員長の選任についてだが、委員の互選により決定する。

（平松委員）

- ・脇田委員を推薦する。

(一同)

- ・異議なし。

(県事務局 北島課長補佐)

- ・資料2～6、資料8～10、参考資料1について説明。

(市事務局 向井主幹)

- ・資料7、参考資料2について説明。

(本田委員)

- ・検討懇話会の開始時点において、県立図書館、MICE等は、既にそれぞれのプロジェクトの検討が進んでいるということで、懇話会においては議論の俎上には乗らなかった。ただ、その後の検討の進捗において、長崎市から「公会堂を跡地に」、との提案がある等、状況は変化をしているのではないだろうか。
- ・この、都市再生委員会における県庁舎の跡地活用の議論に関しては、これまでのいろいろな案、あるいは考え方について、もう一度、現時点でどう考えるのか、を考慮する必要があると思うがどうか。
- ・地元には、現在検討されている広場、歴史・情報発信、ホール機能だけではなく、昼間人口を確保する施設がもうひとつ必要ではなからうか、公会堂だけでなく市役所も併せて跡地にどうだろうか、という意見も強い。
- ・また、機能の重複、有効な配置等、まちづくりのグランドデザインが県市の議論の中で欠けているのではないか。

(事務局 前川室長)

- ・まずは、懇話会からの提言や議論に基づいて県市で協議を進め、その内容について、都市再生委員会からご意見をいただく形としたい。
- ・ただし、提言にも記載があるが、提言のみに縛られるのではなく、議論の中で新たな機能が付加されたり、また、削除されたりといったこともあり得るので、ご意見として伺っておきたい。
- ・今回は、跡地活用についてのご意見をお願いしているが、グランドデザイン等については、本来の都市再生調整会議で議論していきたいと考えている。

(川添委員)

- ・経済界は、新幹線開通に伴う交流人口の増加こそ、長崎市の発展につながる、という確信をもって様々な提言をしている。県庁跡地には交流人口の増加につながる施設を是非、造って欲しい。
- ・ボウリングなど、様々なものが長崎から日本に広がっている。そういうものを活かし、PRする施設があれば、交流人口も増え、まちの賑わいにプラスになると思う。

(平松委員)

- ・都市経営戦略推進会議において、川添委員が言われたことをまさに提言としてまとめている。県庁跡地こそ交流人口拡大に向けて重要な機能を持たせるべきだと思っている。
- ・市の提案は、公会堂の代替施設と認識していいか。
- ・ホールは、市民サービスとして重要な機能だと思うが、交流人口拡大につなぐことはよほど知恵を絞っていかないと難しい。本当に県庁跡地に必要なのかよく考えないといけない。大きなスペースをとられると肝心の機能が損なわれる可能性がある。
- ・跡地は100年の大計を考えるこの時期に一番重要な場所だと思っている。何のために跡地活用をするのかを念頭において進めて欲しい。

(三藤副市長)

- ・懇話会で年数をかけて議論されたうえで提言が出されており、その提言において、長崎市が検討している文化施設と調整すべき、との意見が記載されている。それを受けて、公会堂の計画と跡地のホールの計画において整合性が取れるのであれば、長崎市としては、今、検討している計画を一時保留してでも調整のうえ、事業を進めて行きたいと提案している。

(平松委員)

- ・県庁跡地は県有地。県有地に長崎市の公会堂となると、他の市に対してはどういう説明をしていくつもりか。

(三藤副市長)

- ・ベースは長崎市の公会堂の移転。ただし、今回、なぜ県庁跡地への整備を提案したかという、懇話会においてホール機能が提言されたので、非常に近い距離で二つのホールの計画が立ち上がったことになる。この2つの計画を調整する必要がある行政としてはあるのではないかということ。私は、単純に長崎市の公会堂を県庁跡地に移転するということではない、と考えている。県庁跡地全体の施設整備を行う中で、県市の共同事業という位置付けができるかどうか整理していきたい。

(中村委員)

- ・青年会議所としても、長崎の未来を考えると交流人口の拡大は必要という認識。
- ・交流人口が増えるような仕組みをもっと考えるべきだと思っている。是非、交流人口の拡大に特化して、県庁跡地を考えてほしい。
- ・県庁・市役所・公会堂の移転など、いろんな話がでてきている中で、まちづくりの全体像を見ながら検討しないと、先が見えてこないと思っている。県庁跡地も全体像を把握しながら検討することが必要。

(外井委員)

- ・交流人口については、非常に重要だと認識している。
- ・国際会議・学会などを誘致できるような場所があるとよいのではと思う。

- ・市内の施設の配置を見るとばらばらである。例えば、跡地周辺に、図書館のようなものを集め、若い人が勉強する場や、市民の交流の場にしてはどうか。

(田崎委員)

- ・旅行業界は、龍馬伝やさるくなど、皆さんの努力で回復基調である。しかし、一過性のものが多く、恒久的に人を呼ぶことを考えると都市再生会議・県庁跡地の活用は重要。国際的にも通用するような観光地にしていくためには、跡地は重要で、慎重に検討をお願いしたい。
- ・交流人口を増やすことも大事だが、定住人口を減らさないことも大事。例えば、夜景は人が住まないといけない。定住人口が減ると観光地としての魅力もなくなることもつながる。
- ・施設をつくった後の運営体制も重要。

(林委員)

- ・県庁舎跡地活用検討懇話会の提言は3つの機能候補に収斂したが、それで十分でないことは、懇話会の全員が感じている。まだ何かあるのではないかという気持ちが大いにある。しかし、その時の趣旨は今まで長崎になかったものを何とかこの場所にというところがあった。
- ・長崎市からホールの提案があっているが、懇話会で検討されていたホール機能はそのようなものではなかった。300席程度の演劇を中心としたホールと500席程度の音楽中心としたホールの組み合わせということだった。演劇と音楽は音響面でも決定的に違うものだというとも言われていた。この規模では採算はなかなか取れないが、懇話会の趣旨としては質のいい文化、創造の場という話もあった。
- ・広場機能については、今後どのような使い方をするかという時に、できるだけ余地を残すために、この場所は開かれた土地にしておこうという話だった。
- ・歴史・情報発信機能については、出島や歴史文化博物館で示すことができていないものについて、新しい情報として出していく施設だったと思う。
- ・長崎市の提案は、ある意味で公会堂の代替施設を持ってくるような感じだが、すんなりと納得できるとは言えない。

(三藤副市長)

- ・市の考え方としては、懇話会でホール機能が提言され、ホール機能については様々な考え方があると承知している。それと同時に懇話会では、長崎市が検討している文化施設と調整をすべきだと言われている。そのようなことを踏まえた上で、調整ができるのかどうかということで提案している。イメージと合わないということであれば、それは整合がとれるかという協議を今後させていただいて、その結果次第だと考えている。

(県事務局 其田補佐)

- ・資料4の中にある松が枝周辺エリアについて、平成22年度に整備計画を策定しているが、松が枝の埠頭拡張計画が今年の7月に改定されたことから、山手側のまちづくりと

合わせて整備計画を改定することとしている。現在作業しているので、素案がまとまり次第、都市再生委員会にご報告してご意見をいただきたいと考えている。

- ・都市再生の全体概要図は、県と市の施設が表示されているが、わかりにくいという意見もあり、よりわかり易くするために、県市の公共施設の具体的なスケジュールを盛り込んだものを考えている。これも案ができ次第、都市再生委員会にご報告してご意見をいただきたいと考えている。

(平松委員)

- ・資料4について、県庁舎跡地が中心・中核で、ここから人の流れができるというのが文章では出てくるが、絵の中ではあまり出てこない。より明確に示してほしい。
- ・県市で検討しているのは承知しているが、公共交通ネットワークの話をそろそろ議題に設けていただきたい。

(県事務局 前川室長)

- ・県庁舎跡地の利活用については、本日いただいたご意見を参考に、引き続き県市で協議していく。今年度中には整備方針をお示ししたいと考えているので、今後ともご意見を賜りたい。

- 以 上 -